

小テスト

【問1】 プログラムファイルの先頭行に、C のコメントとして自分の番号と名前を書いてください。(5 点)

【問2】 課題 3-1 の関数 `show_range()` において、引数で指定した範囲が $s > e$ の場合も考慮された (e 番目から s 番目を出力する)、関数 `show_range2()` を作成してください。この関数のプロトタイプ宣言は以下のようになります。(15 点)

```
void show_range2(int s, int e);  
/* まず、s > e かどうかを調べる処理を追加する */  
/* s <= e の場合は、show_range() と同様の出力処理をする */
```

`main()` で動作を確認してください。

```
[配列をグローバル変数として宣言する]  
int test[5] = {80, 60, 22, 50, 75};  
[main() での処理]  
show_range2(1, 3); /* s < e の場合*/  
show_range2(4, 2); /* s > e の場合*/  
show_range2(3, 3); /* s == e の場合*/  
[実行例]  
test[1]: 60      (← 1 番目から 3 番目の要素出力されている)  
test[2]: 22  
test[3]: 50  
test[2]: 22      (← 2 番目から 4 番目の要素出力されている)  
test[3]: 50  
test[4]: 75  
test[3]: 50      (← 3 番目から 3 番目の要素出力されている)
```

小テストの実施について

小テストの注意点

- 他人の力は借りずに、自分だけでプログラムを作成する。つまり、通常の定期試験と同様。
- 小テスト中は、演習室外へのネットワークアクセスは遮断される。

小テスト中に参照できるもの

- 教科書, 配付資料
- 自分のホームディレクトリ (ホームフォルダ) 以下に保存されているファイル
- * 上記以外の情報を参照することはカンニング行為とする
(例: USB で接続された機器に保存されているファイルの参照, ネットワークを介した情報の参照など)

答案の提出

- 保存したファイルは次のように「report」コマンドで提出する
(ちゃんと提出できた場合は、「Succeed.」と画面に表示される)
\$ ~kogai/report kiso3 「プログラムファイル」
- 複数のファイルを提出する場合は、report コマンドを分けて提出する

例えば、kiso3 という提出先に対して、test1.c と test2.c のファイルを提出したい場合は、次のように 2 回に分けて提出する

```
$ ~kogai/report kiso3 test1.c
$ ~kogai/report kiso3 test2.c
```

- 同じ問題に対して、複数の提出ファイルが存在した場合は、更新日時が新しい方を提出ファイルとする
- 提出するファイルは、誰から提出されたのか区別されるため、ファイル名は各自で自由に決めて良い
(ただし、提出するファイルの先頭行には、出席番号と氏名を記入する)

小テストの模範解答

```
/* 自分の番号と名前をここに書く */
#include <stdio.h>

/* グローバル変数として宣言する */
int test[5] = {80, 60, 22, 50, 75};

/* 関数のプロトタイプ宣言 */
void show_range2(int s, int e);

/* s>e の場合を考慮して出力される */
void show_range2(int s, int e)
{
    int i, tmp;
    /* s>e かどうか比較する */
    if(s > e) {
        /* s と e を交換する */
        tmp = s;
        s = e;
        e = tmp;
    }
    /* s~e 番目までの要素に出力を繰り返す */
    for(i=s; i<=e; i++) {
        printf("test[%d]: %d\n", i, test[i]);
    }
}

int main(void)
{
    /* show_range2() の動作確認 */
    show_range2(1, 3);
    show_range2(4, 2);
    show_range2(3, 3);

    return 0;
}
```